

2024 年 5 月 1 日

**当院で外科的気道確保を受けた患者さまへ
診療情報を用いた臨床研究に対するご協力をお願い**

所属：佐野厚生総合病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科

職名：主任部長

氏名：大久保 啓介

連絡先番号：0283-22-5222

このたび当院では、上記の診療を受けられた患者さまの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので御協力をお願いいたします。この研究による患者さまへの新たな負担は一切ございません。またプライバシー保護に関しては最善を尽くします。本研究への協力を望まれない方はその旨をお知らせください。

1. 対象となる方

2019 年 4 月から当院にて外科的気道確保（気管切開術または輪状軟骨切開術、輪状甲状膜穿刺切開など）を受けられた方

2. 研究課題

外科的気道確保を施行した症例の術後臨床経過についての検討

3. 研究実施機関

佐野厚生総合病院

4. 本研究の意義、目的、方法

気管切開術は外科的気道確保の術式として一般的に広く行われていますが、高度肥満や頸が短い方、喉頭が低い方は通常の気管切開が難しく、術後合併症が高いと考えられています。2007 年に従来よりも高い位置に気管孔形成を行う術式（輪状軟骨切開術）が提唱され、安全性が高いことから広く行われるようになり、2023 年にはガイドラインにも記載されています。しかし、術後の長期経過や術後合併症などについて、詳しいことはまだわかっていません。また、輪状軟骨切開術に特化した気管切開チューブは市販されておらず、気管孔の形状の違いに関する課題もあります。当院は外科的気道確保をガイドラインに基づいて行っており、蓄積した術後臨床経過を検討することで更なる術後合併症の予防に繋げることができると考えています。

5. 協力をお願いする内容

カルテを拝見させていただき、術式や挿入した気管カニューレ、術後経過など、必要な項目のみを抽出して上記の解析に使用させていただきます。患者様には追加費用等の負担はかかりません。

6. 本研究の実施期間

当院倫理委員会承認後～2025 年 12 月 1 日(予定)

7. プライバシーの保護に関して

- 1)本研究で取り扱う患者様の個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報は一切取り扱いません。
- 2)本研究で取り扱う患者様の診療情報は、個人情報をすべて削除し第 3 者には一切わからないように匿名化したデータとして取り扱います。
- 3)患者様の個人情報と匿名化データとを結びつける情報(連結情報)は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時には完全に抹消します。
- 4)連結情報は当院内のみで管理し他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8. お問い合わせ

本研究に関する質問、ご意見のある方は下記までご連絡ください。

住所：〒327-8511 栃木県佐野市堀米町 1728

電話：0283-22-5222

担当者：耳鼻咽喉・頭頸部部外科 大久保 啓介

受付時間：平日午前 9 時から午後 5 時まで